

本ができてあがるまで — 編集者の仕事 —

講師: **足立 真穂氏** (新潮社 出版部)

「編集者って毎日なにをしているの?」そんな方にはうってつけの講座です。11月新刊の新潮新書『日本辺境論』(内田樹著)を素材にして、原稿が完成し、本になるまでの過程を丁寧に解説。作家さんとの裏話もまじえつつ、ノンフィクション編集者の苦労や喜び、「書く気にさせる」仕事術などを語っていただきます。

日時: 2009年12月2日 [水]
16:20~17:50

事前申込要
参加費無料

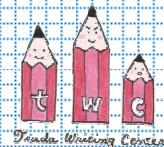
会場: 津田塾大学
小平キャンパス5号館5101教室

足立氏プロフィール

1996年新潮社入社。週刊誌編集、営業などを経て書籍編集に携わる。季刊誌『考える人』の編集や、国内外の実用書から学術系の本まで、幅広いテーマの本作りを手がけている。最近担当した書籍は、11月新刊の『月のかぐや』(JAXA編)、『日本辺境論』(内田樹著)など。

申込・問い合わせ先

津田塾大学
ライティングセンター(津田梅子記念交流館内)
TEL/FAX: 042-342-5129
URL: <http://twc.tsuda.ac.jp/>
E-Mail: WritingCenter@tsuda.ac.jp
受付時間: 9:00-16:30
(昼休憩 11:15-12:15)



Tsuda Writing Center

TEL&E-MAIL

平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」(教育GP)採択
「社会貢献は書く力とプロジェクト推進力から」

[取組概要]

国内外において円滑にコミュニケーションを図る力量は、仕事の企画・立案・実施・運営に必須の要素であり、その基盤となる日本語力強化のニーズが産官学各界で指摘されている。

本取組では「キャリア教育推進タスクフォース」が、「リーダーシップを発揮する女性人材の育成」を目指し、「ライティングセンター」と「学生主導型プロジェクト」を両輪して実践的総合キャリア教育を推進する。